



朝来市 議会だより

12月 3月
定例会は
年に4回
9月 6月

第86号

令和5年
6月定例会

議案審議

人事案件／意見書発議

委員会調査報告／委員会報告

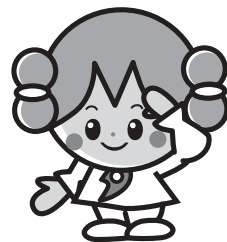
賛否の状況

一般質問

政務活動費／広聴会募集

表紙写真応募者の声
／日程（9月定例会）





物価高騰

デジタル化に対応

6月定例会が、6月9日から30日まで22日間の会期で開かれ、条例の一部改正4件、令和5年度補正予算3件などが提案されました。

条例の一部改正については所管する常任委員会で、補正予算については予算決算特別委員会で審査を行いました。

また、最終日には1件の意見書提出について文教民生常任委員長が発議し、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算

補正2・4億円可決

令和5年度一般会計の補正予算（第3号）は、現予算額に合計2億4870万円を増額し、総額200億3030万円とするものです。

予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。



（議案審議）

質疑

問 大学生等生活支援臨時給付金について、下宿等の2拠点生活をされている方のみへの支援なのか。

答 2拠点生活で負担が重い保護者等に対し、エネルギー・食料品等価格高騰について補助し、生活支援するのが今回の目的である。

問 あさご元気応援券の配布には郵送料がかかる。あさごPayとの連携等、デジタル化の検討は。

答 今回はあさごPayの活用は困難だが、今後対応できるようになれば、活用を検討していく。

問 中小企業者等緊急経済支援において、省エネの判断基準は。また、効率的な判断方法の検討は。

答 製品カタログやパンフレット等を確認する。効率面では、省エネ製品買換ナビゲーションサイトについて研究する。

問 老人福祉一般管理事業のタブレット導入は、介護認定に関わる職員全員への配備なのか。

答 申請者の負担を軽減するため、訪問調査員6名が聞き取り調査時に使用する。

一般会計補正予算（第3号） に関する審査意見（要約）

大学生等生活支援臨時給付金給付事業については、専修学校在学者も給付対象となっているが、高校生が対象とならないことと矛盾するため、整合性を保つ必要がある。また、2拠点生活の事実証明として賃貸借契約書等を求め、3親等内の親族の住宅に居住する場合を対象から除くとのことだが、事業の目的が生活支援であること、親族宅等への下宿が必ずしも負担が少なくとは言えないことから、証明方法は緩やかに解釈するとともに、親族宅等への下宿も含めて支援するのが適切である。

あさご元気応援券配布事業については、地域経済の活性化も目的であるので、市内の経済波及効果を検証し、将来の政策決定に役立てることも重要である。

人事案件（敬称略）

任期満了に伴う教育長、教育委員及び農業委員会委員の任命について、同意しました。

【教育長】

小倉畑 祐貴（山東町矢名瀬町）
任期 令和5年6月6日から
令和8年6月5日



▲所信表明する
小倉畑教育長

篠岡 昌代（和田山町市御堂）
島田 義弘（和田山町法道寺）
寺前 信龍（生野町真弓）
西 好朗（和田山町岡田）
藤井 幸三（山東町新堂）
細見 和範（山東町溝黒）
米田 隆至（物部）
米田 利秋（田路）
任期 令和5年7月20日から
令和8年7月19日

任期満了に伴う桑原財産区管理会委員の選任について、全会一致で同意しました。

【桑原財産区管理会委員】

安積 茂年 長石 稔
長石 道雄 谷口 隆司
大橋 幸生 大橋 幸司
大橋 一郎
任期 令和5年6月22日から
令和9年6月21日

【教育委員】

高内 祥子（和田山町和田山）
任期 令和5年6月7日から
令和9年6月6日

【農業委員会委員】

石原 武美（山東町粟鹿）
伊藤 孝行（和田山町林垣）
大田垣 強（新井）
小田 彰子（山東町和賀）
高本 知宣（和田山町久世田）
佐野 伸夫（山東町大月）

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦があり、全会一致で適任と認める答申をしました。

【人権擁護委員】

川會 宥海（桑市）

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げに係る意見書

閉会中の5月に、朝来市教職員組合（執行委員長 小島利浩氏）から請願（紹介議員 嵯峨山博）が提出され、文教民生常任委員会で審査を行いました。
最終日、委員長報告のとおり全会一致で採択し、この採択に伴い委員長から発議された意見書についても全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げに係る意見書（抜粋）

【要望事項】

- 1 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- 3 自治体で、国の学級編成標準より引き下げた「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう、加配の削減は行わないこと。
- 4 教職員未配置問題の解決にむけ、必要な財政措置を講じ、人材確保に努めること。
- 5 新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランス確保等の観点を十分に考慮し、すべての自治体で定年引上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講ずること。
- 6 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

【提出先】

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

総務常任委員会調査報告

「(1)消防団員の報酬等の取扱いに関する事項」及び「(2)防災計画及び災害対策に関する事項」

【調査の概要】

(1)消防団員の報酬等の処遇改善に伴い、今年度から各分団に支給される分団運営費について担当課から説明を受けた後、質疑を行った。各分団に支給される分団運営費は分団あたり約10万円となるが、6割を均等割、4割を団員数割として算定することとし、充当される経費としては、軽微な車両修繕、消防機庫周辺の環境整備、新入団員の勧誘に要する経費等を想定しているとのことであった。

(2)地区防災計画の策定状況について、担当課から説明を受けた後、質疑を行った。現在の策定率は44%であるが、伸び率が低まっているとのことである。

【委員会のまとめ及び意見】

(1)分団運営費について、朝来市消防団幹部会議において協議の

結果、今年度については予算の内6割を均等割で、4割を分団員数割で各分団に配分することが了承され、来年度以降については今年度の状況を踏まえ再度協議することである。しかし、国は消防団活動に必要な経費を適切に措置することを求めていることから、奨励金の扱いでは曖昧であり、必要経費が充分賄える制度を検討すべきである。

(2)地区防災計画の策定率は、44%で頭打ちの状態である旨の報告を受けた。策定についてインセンティブを付与するなど、策定を促す工夫が必要と考える。今後、他自治体の取組みも調査研究しながら検討を進める必要がある。



▲委員会での協議の様子

生野庁舎等整備事業について

事業の一時停止を賛成多数で可決（3月定例会）

令和5年3月29日（3月定例会最終日）、建築工法選択の根拠に関する説明が不十分であることから、適正な審査ができ議会の理解が得られるまでの間、事業を一時停止することを賛成多数で可決しました。

要検証事項についての調査結果を報告（6月定例会）

令和5年5月16日及び24日に総務常任委員会を開き、本件について調査を行いました。その結果、令和5年6月9日（6月定例会初日）、本件に関する当局の説明を是認することを決定したことを報告しました。

委員会におけるまとめ及び意見（抜粋）

(1)公共建築物への木材利用の取組について

議会も含めて、公共建築物への木材利用促進について、認識が不足し、この観点からの住民との協議が希薄になったことで、建物構造についての住民要望を十分くみ取ることができなかったおそれがある。これを反省点として、今後の施設整備における対応に活かすことが重要である。

(2)建築コスト比較について

最も問題となっていたCLT工法のコストについては、CLTパネルメーカーへのヒアリングを行うと共に、国のCLT関連告示を踏まえた積算基準等によって算出したものであり、一定の客観性は確認できたものと考ええる。

産業建設常任委員会調査報告

「(1)新規就農者研修制度に関する事項」及び「(2)畜産団地共同畜舎に関する事項」

【調査の概要】

(1)新規就農者研修制度に関する令和4年度までの活動実績及び令和5年度活動内容等について、農林振興課から説明を受けた。
(2)令和4年度において、畜産団地共同畜舎の臭気等に関する調査が実施され、その結果について、農林振興課から説明を受けた。

【委員会のまとめ及び意見】
(1)新規就農者研修制度については、朝来市農業カレッジを実施するなど就農者の開拓に向け取り組んでいる。研修制度の見直しも検討されているが、^{*}親方及び就農者に対してそれぞれの事業報告書、事業カリキュラムなど定期的に資料の提出を受けることにより進捗及び対応状況が把握できるように、制度設計を見直す必要がある。また、研修

者に合った個々の指導方法など、親方及び就農者が責務を果たされるよう再検討されたい。

(2)畜産団地共同畜舎の臭気等に関する調査が実施された結果、基準値を超えるなどの結果が出ていることから、継続して臭気調査等を実施していく必要があると委員会として確認した。また、鶏糞管理舎は、今後、鶏糞をためないように対応することであるが、市当局において継続して環境調査ができるよう予算措置を含め検討されたい。



▲畜産団地共同畜舎視察の様子

*親方

新規就農者研修制度における指導者

広聴広報常任委員会調査報告

市議会ホームページ

に関する事項

【調査の概要】

議会広報特別委員会の調査報告の結果、市議会ホームページを特設サイトに戻すこととなった。その結果を受け、令和5年3月に新設した常任委員会として、市当局と調整し、リニューアルを進めることとした。

【委員会のまとめ及び意見】

議会ホームページにおいては、議会の基本的な情報についてお知らせする機能、本会議や委員会などの活動状況、審議等の内容について見聞き（閲覧・視聴）できる機能及び議会意見箱、請願・陳情等、議会に対して意見を寄せていただきやすくする機能を備えていることが求められる。

そこで、議会トップページの最上部にこれらの機能ごとに「議会をシル」、「議会をミル・キク」、「議会にイウ」の検索の大

項目をレイアウトし、訪問者が必要な情報に容易にたどり着けるようにした。

次に、他団体ホームページも参考にしながら、トップ画面には、写真などを活用し議員紹介、議会活動など周知できるようにスライド形式を採用するとともに、議会日より、議会インターネット配信、議会カレンダーなど、必要な情報がわかりやすく検索、取得できるレイアウトにし、議会活動の情報を得やすくなるようにした。

以上のことを踏まえ、市民が議会を身近に感じていただける議会ホームページとして、令和5年6月、今定例会中にリニューアルスタートすることとする。



▲朝来市議会ホームページ

産業建設常任委員会

新規就農者研修制度に関する事項、畜産団地共同畜舎に関する事項、新たな産業団地に関する事項について、所管事務調査を実施しました。

新たな産業団地に関する事項については、今年度から地域経済の活性化に向け、企業誘致や市内事業者の新たな設備投資の受け皿となる産業団地の整備を進めていくため、候補地の視察を行いました。



▲産業団地の候補地視察の様子

総務常任委員会

消防団員の報酬等の取扱いに関する事項(2回)、防災計画及び災害対策に関する事項(2回)、生野庁舎等整備事業に関する事項(2回)、公共交通施策に関する事項、体育施設整備事業に関する事項、朝来市職員の定年延長問題に関する事項などについて調査を実施し、また「和田山ジュピターホールの改修について」「第2期朝来市創生総合戦略の一部改訂について」委員会協議会を開催し担当より説明を受けました。



▲委員会での協議の様子

広聴広報常任委員会

公募する表紙写真の取り扱いを含む議会だより第85号の編集・発行について、CATVによる議会ダイジェスト放送について、リニューアルする議会ホームページについて、議会意見箱について、議会報告会について、議会広聴会について協議を行ないました。また、4月20日に令和4年度議会モニターとの意見交換会を、5月12日には令和5年度議会モニター委嘱状伝達式を、いずれも対面で実施しました。



▲議会モニターとの意見交換会の様子

文教民生常任委員会

4月24日に朝来市学校給食センターを視察しました。調理風景を見学し、当日の給食を試食しました。視察をふまえ委員会では主に2つの課題を認識しています。一つは残食に関して。令和4年度には1日1人あたり14.3gの残食がありました。給食時間やメニューとの関係等、調査を続けます。二つ目に地産地消の推進です。調達が繁雑になることや調理の手間が増えることをどう軽減すべきか調査を継続します。



▲学校給食センター視察の様子

5月臨時会で審議した議案に対する賛否の状況

議案名	議員名																		
	上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾崎里美	藤原正伸	足立義美	森田龍司	浅田郁雄	藤本邦彦	日下茂	森下恒夫	嵯峨山博	瀧本稔	西本英輔	
承認第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第6号	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

6月臨時会で審議した議案に対する賛否の状況

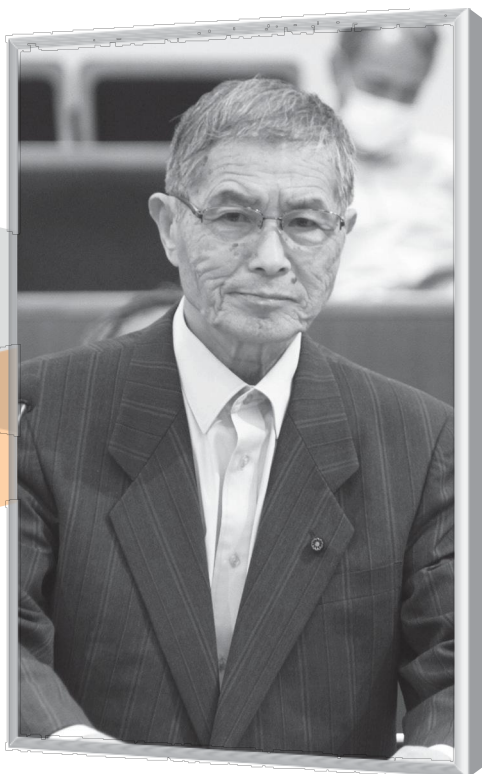
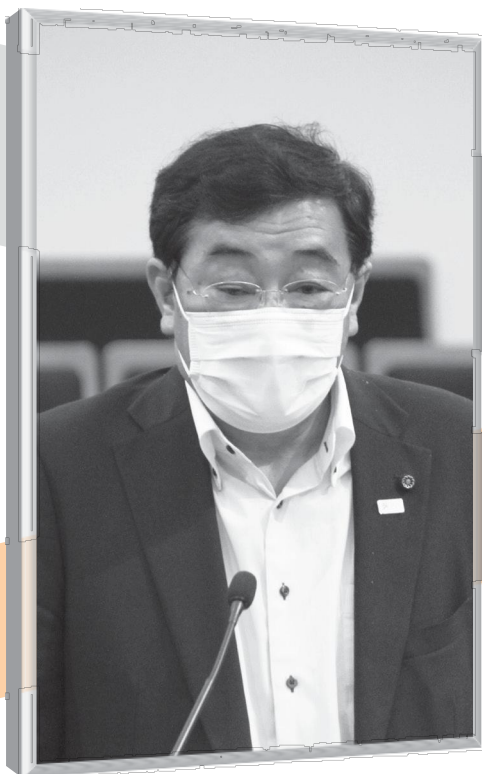
議案名	議員名																		
	上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾崎里美	藤原正伸	足立義美	森田龍司	浅田郁雄	藤本邦彦	日下茂	森下恒夫	嵯峨山博	瀧本稔	西本英輔	
同意第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

6月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

議案名	議員名																		
	上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾崎里美	藤原正伸	足立義美	森田龍司	浅田郁雄	藤本邦彦	日下茂	森下恒夫	嵯峨山博	瀧本稔	西本英輔	
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
同意第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第9号 ～22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成した議員は○ 反対した議員は× 欠席した議員は欠 ※議長には通常、表決権がありません。

市政を問う



一般質問(代表・個人)では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い質し、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容と写真は各議員が560字以内にまとめ提出したもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されており、文責は各議員にあります。



代表質問

地域消滅危機への重要提案十策

自由倶楽部 横尾正信



問 朝来市の人口減少はやがて地域社会の消滅にまで至る。根本対策が必要。まず市役所組織を平時から非常時へ転換する。今年度から始まった公務員の定年延長、役職定年制を利用して、これらの諸君を対象にして第2市役所(公益財団法人)を創り、大きな課題を解決する事業団として活躍させてはどうか。

答 定年延長―役職定年組は主幹として、各部署の事務を担い、若い職員を支えてもらう。
問 さらに重要施策を提案する。一つは財政強化だ。十人程でふるさと納税拡大の為に専門チームを作る。目標はまず三十億円。二つ目は再生可能エネルギー(電気)を市内で自給する為の事業団を作る。三つ目は産業政策。まずは市内事業所数の減少対策。事業所の承継支援の強化。起業、企業誘致の専門組織の強化。四つ目は深刻な労働力不足への対策。海外自治体と姉妹都市提

携を結び、外国人人材の計画的、組織的な受け入れを推進する。五つ目は激増する空き家対策。手遅れにならないうちに専門組織での対応が必要。三十%超えれば、地域崩壊につながる。六つ目は広域交通網の改善。遠坂トンネルの令和8年の無料化の実現。国道9号線、和田山―福知山間のバイパス建設。更にJR播但線の全線電化を実現し、通学通勤快速を走らせること。
答 提案について研究する。

朝来市の空家発生状況

旧町	戸数	2020年空家		2060年空家推計	
生野町	1670	301	18%	1580	80%
朝来町	2200	321	14%	1540	70%
山東町	2160	281	13%	1300	60%
和田山町	5650	565	10%	2800	50%
計	11680	1468	12%	7200	62%

空家の発生数 年間140戸(1.2%)

▲朝来市の空き家発生状況



代表質問

防災政策の充実で

安心な朝来市を

朝来市創生の会 松井道信



問 公助による災害対応は人的に限界があり、地域防災を支える自主防災組織は重要な存在である。平常時から機能が発揮できる体制づくりは極めて重要であり、環境整備することが行政の役割と考えるが所見を伺う。

答 地区防災計画の作成や訓練について、働きかけや支援を行い地域の防災力向上に努める。

問 防災担当部署に防災専門職が不在である。内閣府の制度にある、地域防災マネージャーの配置を検討すべきである。

答 危機管理分野の知識・経験等を有する人材の確保、育成が急務である。職員派遣制度を活用し、現有職員の能力向上に努めているが、専門人材としての知識やスキルの蓄積が困難な状況である。地域防災マネージャーの採用や県市町の広域的連携による防災専門職員の設置等、本市にとって望ましい形態を調査研究したい。

問 福岡町消防団と田原小学校

の防災の取組が消防庁長官賞に選ばれた。親や身近な地域の大人が消防団員として活躍する姿を見て、社会貢献と防災の意識を高める活動が評価された。本市でも取り入れるべきである。

答 自分たちにとって身近な存在である消防団についての学習は、将来の地域防災に携わる人材育成につながることを期待できる。福岡町の取組も参考にし、関連機関や関係機関、地域住民等との連携をさらに促進していきたい。



▲危機管理部防災安全課



個人質問

バイオマス発電の

早期再稼働を図れ

澁本 稔



◎日本遺産認定更新

問 日本遺産の認定更新審査に、どう対応するのか問う。

答 継続認定に向けた現地調査が行われ、神子畑選鉱場跡、甲社宅を活用した宿泊施設「生野ステイ」を案内・説明した。7月に文化庁から結果が公表される。

◎生成AIの活用

問 自治体DXに取り組み中で、チャットGPT等の「生成AI」をどう活用するのか。また、注意しなければならぬ点は何か。

答 チャットボットとして活用、会議録作成等の業務効率化にも繋がる。生成AIによって生み出される成果物には、正確性・信頼性が確実でないものがあり、内容を修正する必要がある。

◎バイオマス発電の再稼働は

問 自伐型林業及びバイオマス発電等の現状と今後の計画について問う。

答 朝来市自伐型林業推進協議会を立ち上げ、各種研修等に取り

り組んでいる。バイオマス発電の現状は、ファイナンシャルアドバイザーから、譲渡先候補の3社のうち2社から最終意向表明書の提出があったと報告があった。今後は、県森林組合連合会と関西電力エネルギーソリューションにより、譲渡先の最終選考が行われる。その後、市として土地賃貸契約について協議したい。



▲市川・生野橋たもとの銀馬車モニュメント



個人質問

住んでよかった朝来市に！

関 綾乃



○サイクリングを通じた朝来市の観光促進について

問 南但馬グリーンライドは早々に定員に達した。サイクリング需要の高まりを維持・拡大するためどう取り組んでいくか。

答 本市が推進する着地型観光におけるサイクリングツーリズムと、重要となる体験をコンテンツに位置づけ、旅行商品として造成販売を進める。

問 イベントの繋ぎ目としてサイクルフォトテストやスタンプラリーを実施してはどうか。

答 四季折々のイベントをどう観光に活かすか検討する。関西万博もあり、多くの方を受入れる施策も必要だと思っている。

問 QRコードを利用するアンケートフォームもある。サイクルコースについて評価や検証は。

答 DX推進の中で担当課とも協議し進めていきたい。

○地域おこし協力隊による活動について

問 高い定住率の要因は何か。



▲「道の駅あさご」にある朝来市のサイクリング拠点

答 地域や行政の問題解決だけでなく、隊員本人のやりたい活動が展開できる環境を整えたり、行政と地域の手厚いサポート体制があるからだと考えている。

○農業移住者や新規就農者への支援について

問 目指すべき将来像や支援は。

答 移住定住を促進し農村環境が維持できるまちづくりを定めており、空き家と農地の有効活用を一体的に図ることや特産品の生産拡大・雇用といった横串の施策を展開する事としている。



個人質問

「子どもの施設整備を！」

吉田 俊平



問 旧梁瀬医療センター跡は子ども屋内遊び場の建設はどうか。

答 私の公約と方向性を合致するもので、地元地域の御意見など勘案し慎重に検討を進めたい。

問 子ども図書館を生野庁内か生野町内に設置してはどうか。

答 これからの時代に求められる図書館の在り方について検討も必要であると考えている。

○物価高騰対策について

問 市内の家計可処分所得は幾らで、増加率と減少率は。

答 市内の給与、年金、農業、不動産、事業所等の全ての平均所得の状況から、令和4年度は令和3年度と比較し、101・9%となっており、吉田議員が仰るとおり物価の増加が平均所得額の増加を上回っている状況である。

○除雪、大雪の対応について

問 除雪の負担を誰が担うべきか、そして誰が担うことができるのか。大雪時の対応をどうすべきか検討しているか。



▲天童市子育て未来館 げんキッズの様子

答 新たな人材確保と、除雪作業に従事するための人材派遣も視野に入れ対策を検討していく必要があると考えている。

○FMラジオ難聴解消について

問 FMラジオの難聴を解消すべきと考えるが。

答 難聴解消に向け調査研究を進めたい。

○遠坂トンネル無料化について

問 維持費の負担軽減のため県から国に移管し無料化すべきだ。

答 国・県等関係機関と協議を進めていくとの回答を得ている。



個人質問

住み続けたい

元気で美しい朝来市

水田 文夫



○若者、働き世代への支援策

問 朝来に帰り働けば、返済不要の奨学金英資金の創設を。

答 市で行っている貸与型奨学金制度のハードルを下げ、計画的にふるさと定住に結びつけていければと考えている。

問 結婚時に十万円。5年経過時に十万円、というような形の結婚祝い金制度の創設を。

答 国の交付金を活用し、支援策を検討していく。

問 在宅で育児をする保護者に対して、当該児1人当たり一万五千元支援してもいいのでは。

答 検討するように、指示している。

問 3世代同居支援ということ、市民税の優遇や住宅改修などの支援制度を整えては。

答 あさご暮らし住宅取得等応援事業で、多世代で同居、また隣居、近居する場合最大十万円に加算がある。これが現在の市における3世代同居につながる支援策と思っている。

○あさごPayさらに拡充を

問 あさごPay市内三つの道の駅でチャージすることはできないか。

答 今秋も、より一層利便性と経済活性化に資する実施方法として、チャージ機の設置場所等も含め、検討していく。

問 追加販売のあさごPay、物価高騰対策の一つとしてプレミアム率を三〇%にしては。

答 継続的に運営するには、二〇%かなと思っている。



▲結婚祝い金制度の創設を！



個人質問

小さなことから始めよう

加藤 貴之



○生野図書館を交流の拠点に

問 庁舎建替後の生野図書館は、一階ロビーに新刊図書、二階交流室（仮称）に五千冊弱の図書コーナーを設ける計画案。

問 単に本を貸すだけの図書室ではなく、地域の交流拠点となるべき。地域住民等がおすすめの本を寄贈し貸し借りしあう、顔が見える図書館を提案する。

答 市民のつながりが広がる施設となるように検討していく。

○地域猫活動への支援を

問 猫に関する地域課題は。

答 餌付けによる繁殖、ふん尿、騒音等の問題がある。

問 地域猫活動とは。

答 飼い主のいない猫を不妊手術して地域で見守ることで、繁殖を抑える活動である。

問 手術費用の負担が地域猫活動の障害となっている。手術費用の助成制度の創出を。

答 負担の大きさは理解している。まず、地域猫活動が市民に知られるよう啓発に取り組む。

○子育て世帯の住居の安定を

問 市管住宅の入居状況は。

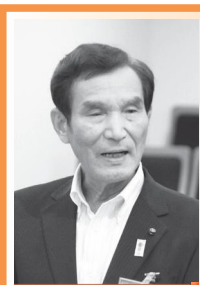
答 戸数357、入居戸数259、未就学児のいる戸数26、7から18歳のいる戸数63。

問 未就学児世帯は入居基準月収が特例的に21・4万円。一方で小学生以上の世帯は15・8万円。収入が上がり退去が必要な家族がいる。大学生のいる世帯まで入居基準額を21・4万円以上に引き上げるべき。

答 子育て施策プロジェクトチームの中で検討をしていく。



▲カットされた耳が地域猫の目印



個人質問

組織の活性化を目指して

足立義美



○市の不登校問題への取り組み

問 朝来市全体では、多くの不登校生がおられる。市は不登校問題に対し、どのような取り組みを考えているか。

答 県では、今年度から兵庫不登校対策プロジェクトを立ち上げる。朝来市でも各校で不登校対策チームを設置し、不登校対策支援プランの作成や組織的な不登校対策を推進する。また、適応指導教室である、すまいるルームで、一人ひとりにきめ細かな指導を継続していく。

○女性職員の登用拡大を

問 市の女性職員の登用は進んでいると考えるが、課長以上の職員構成に占める割合はいかがい。

答 女性職員の能力開発を促進し、管理職員等への登用拡大につなげる。課長以上の職員構成に占める女性職員割合は、令和元年度が16・4%、3年度が19・3%、5年度が21・4%となっている。なお、副課長以上で7年度に25%という目標は、



▲学校生活 (イメージ)

すでに達成している。

○市は障害者の雇用を拡大

問 市役所の障害者に係る法定雇用率は、2・6%ですが、その雇用率の推移と障害別雇用者数はいかがい。

答 雇用率制度は、障害者の自立、社会参加のための重要な柱である。雇用率の推移は、令和2年度が、2・72%で、身体の方が10人、知的の方が1人、4年度が2・97%で、身体の方が10人、知的の方が2人、精神の方が1人となっている。

○朝来市消防団について

問 分団報奨金について、15人の分団に8万1700円、その4倍の65人いる分団に14万8400円は少し不公平感がある。15人の分団を10万円基準に出来ないか。

答 幹部会議での意見を伺いながら担当課で協議していきたい。

○民生委員について

問 民生委員法によって町ごとに単位民生協を置くことになっているが、民生委員は単位民生協に月額いくら払っているのか。

答 和田山町では800円、山東町では500円、朝来町では1000円であり、生野町では年額で1万円を支払っています。

問 単位民生協に支払う額を一定にできないのか。

答 それぞれ独立して活動しているので非常に難しい。

○学校運営について

問 小学校の女子トイレについて、洋式が少ないと思う。枚田小学校では女子トイレ5つのう



個人質問

市民にやさしい生活を!

浅田郁雄



ち4つが和式という比率である。これをどのようにお考えか。

答 トイレ改修も含め教育環境と施設整備をしていく。枚田小学校を含め2校については、来年度にトイレ改修を実施する。毎月各戸に配布される配布物が増えていくように思うが。

答 情報を伝える手段として全戸配布による広報は重要であり今後も継続したい。配布物の精査や資料のデジタル化等の研究で、区長の負担を軽減できるように対応していきたい。

トイレ整備に係る洋式便器・和式便器の数(児童・生徒・職員トイレを含む。)

	校舎			
	男子		女子	
	和便器	洋便器	和便器	洋便器
生野小学校	3	6	9	10
系井小学校	0	8	3	12
大蔵小学校	0	9	19	4
枚田小学校	6	6	23	6
東河小学校	10	5	6	7
竹田小学校	3	8	9	18
梁瀬小学校	0	10	0	21
中川小学校	2	3	2	11
山口小学校	5	4	14	4
小学校計	29	59	85	93

▲トイレ整備に係る洋式便器・和式便器の数



個人質問

朝来の活力ある

まちづくりを拓く

森田龍司



○美しい朝来をつくる施策を

問 中田路地区から出された請願（田路川の法面と圃場整備法面の除草について）は、その後どのように検討しているのか。

答 現状では、一行政区を超えた全市的に深刻な問題として捉えて、現行支援制度では対応が困難であることから、新たな制度の構築に向けて検討している。

問 どのような支援制度を、いつまでに策定するのか。

答 令和5年・6年度の2年間で地域住民の負担度や支援制度の有効性、地域コミュニティの在り方についてヒヤリング調査し、地域の実情や支援制度の有効性を十分に把握し、令和7年度に新しい制度を構築する。

○畜産団地の臭気調査について

問 議会の要請をうけて昨年に畜産団地の臭気調査が実施されたが、その結果について。



▲畜産団地の調査地点

答 特定悪臭物質分析では基準以下であったが、青臭い刺激臭である「アセトアルデヒド」が検出され臭気調査では、「基準値を超える臭気」が検出された。
問 議会は、この結果を受けて、継続して環境調査（臭気調査含）ができる予算措置と調査の実施をお願いしているが、その対応について。
答 令和5年度も環境調査の実施を予定している。特に、昨年のデータとの比較検証ができるよう、同時期の調査を実施し臭気の原因とされる鶏糞の保管舎の使用を中止したことから、鶏糞がない状態の検査を実施する。

○中学校の部活動について

問 所属していない生徒についてどのように思うか。

答 今年度、市内中学校で部活動に所属していない生徒は147名で全体の22%。中には学校外の団体に所属し自己実現に向けて努力している生徒もいる。部活動に所属していない生徒が活躍できる場や、居場所があることは大変ありがたい。

問 部活動は多様な体験の機会であり大切な居場所でもある。地域移行の意義は。
答 部活動の地域連携の充実、地域移行の受け皿となる地域クラブ活動への参加、地域の活動への参画により、地域住民との関わりが増え、多様な経験の機会が広がる。今後、本市に同じ在り方を検討し、生徒のニーズに応じた活動や居場所、内容の確保、充実について、学校教育と生涯学習の両面から議論、検討を重ねる必要がある。

○地域の居場所づくり



個人質問

いづもにやわしい

まちづくりを

藤本邦彦



問 地域資源を活かしたこどもの居場所づくりを進めては。

答 多くの自治協議会では小学生を対象に地域資源、地域環境を活かした体験型の事業を実施されている。年7回から8回開催される地域もある。こどもたちだけでなく、スタッフの地域の大人も楽しんで、学んで、地域によるこどもたちの居場所づくりに取り組んで頂いている。そうした活動に対して、研修を実施したり先進地事例を紹介するなど、しっかりと支援する。



▲地域で取り組むこどもの体験イベント



個人質問

安心・安全なまちのために

上田 幸広



○熱中症対策について

問 南但消防本部管内で近年の熱中症により救急搬送された方の内60歳以上の割合は。

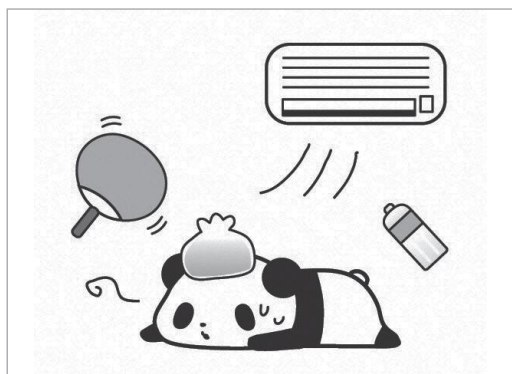
答 令和3年が73・9%、令和4年が75%となっている。

問 高齢者の室内での熱中症を防ぐにはエアコンの利用は欠かせない。低所得の高齢者世帯に対して省エネエアコンへの買換え費用を補助してはどうか。

答 エアコン購入に対する補助については、熱中症予防の効果的対策の一つと考えるが、対象者の選定方法や助成金額など慎重な検討が必要である。

問 学校での熱中症対策は。 **答** 次の5つの指示を学校にしている。①水分補給を済ませて登校させる②下校前に学校で水分補給の時間を設定する③下校時に暑さ指数の測定と警戒アラートの確認④下校に長時間歩く生徒への対策⑤熱中症対策用具の積極的活用。

○高齢者の特殊詐欺被害防止について



▲エアコンやこまめな水分補給で熱中症予防を！

問 最近、高齢者を狙った特殊詐欺が増加している。防止に有効な防犯機能付き電話機の補助や簡易型自動通話録音機の配布を行うてはどうか。 **答** 他団体の取組状況や導入効果を検証し研究したい。

○気候変動による災害対策について

問 地域防災力を強化する為に気象防災アドバイザーを活用してはどうか。 **答** 研究・検討していきたい。



個人質問

竹田城跡は

「ただけじょうあと」

日下 茂



○百名城・「竹田城」愛称・「虎臥城」

問 竹田城跡を「ただけじょうせき」と呼称しているが、「ただけじょうあと」である。しっかりと認識いただきたい。また、当市から日本航空、ひょうご観光本部に竹田城の呼称を「ただけじょうせき」に変更するように指示があったが、呼称を統一のためとの事、疑問である。

答 指示はなかったと思う。 **問** 駐車場は竹田城跡、大手門は竹田城趾、登山口は竹田城趾、道案内は竹田城址、竹田駅は竹田城で、統一されていない。語と語の関係を示す格助詞を使うと、「ただけじょうせき」は「竹田の城跡」、「ただけじょうあと」は「竹田城の跡」。文化財呼称と日本語文法からも、「姫路城跡・ひめじじょうあと」のように全国の城は「○○じょうあと」と呼称している。「竹田城跡・ただけじょうせき」は朝来市だけの呼称。



▲修正されるパンフレット類

問 「竹田城」、「竹田城跡・ただけじょうあと」で統一すべきだ。市長、教育長の見解を聞きたい。 **答** 正式呼称を「ただけじょうあと」とし、パンフレット等も修正したい。 **問** 呼称が確認できたので、今後は「ただけじょうあと」である認識を持ちたい。 **○和田山駅地価が20年で半額** **問** 和田山駅、市役所の路線価が急落しているが対策は。 **答** 開発は慎重に進めたい。

令和4年4月～令和5年3月分

(単位:円)

		清風の絆	朝来市 創生の会	自由倶楽部	朝来市議会 公明党	コンサルヴァ トゥール	合 計
人数	R4.4～R4.7月	9人	4人	3人	1人	1人	18人
	R4.8～R5.3月	8人					17人
収入	政務活動費	1,000,000	480,000	360,000	120,000	120,000	2,080,000
	調査研究費	716,335	337,800	118,872	44,100	142,361	1,359,468
	研修費	175,770	60,660	259,325	25,000		520,755
	広報費		84,831				84,831
	広聴費						0
	要請・陳情活動費						0
	会議費						0
	資料作成費						0
	資料購入費					15,673	15,673
	計	892,105	483,291	378,197	69,100	158,034	1,980,727
収支差引残額		107,895	△3,291	△18,197	50,900	△38,034	99,273
(実質政務活動費額)		(892,105)	(480,000)	(360,000)	(69,100)	(120,000)	(1,921,205)

※収支差引残額がプラスの場合は返納しています。

政務活動費は、議員の政策提言に必要な調査研究・研修などの経費として、各会派に対して交付されています。
ここでは、会派ごとの令和4年度政務活動費収支報告をお知らせします。



(政務活動費)

広聴会に参加する団体を募集します

皆さんは、市議会に直接伝えたいことはないですか？
私たちは、市民の皆さんの生の声をお聞かせいただきたい！という思いから、新たに広聴会を開催することとしました。



広聴広報常任委員会では、広聴会を少人数で開催し、和やかな雰囲気の中で皆さんとの対話を重ねたいと思っています。
皆さんからのお申し込みをお待ちしています。

○広聴会に参加できるのは？

→市内に所在する5名以上の団体です。

○参加の申し込みはいつ、どこに？

→開催希望日の一か月前までを目安に、議会事務局へ申請書をご提出ください。

○対話のテーマは？

→団体でテーマを決めていただき、申し込みの際にご提示ください。

○開催場所はどこ？

→各地区公民館や会議スペース等、申込団体においてご準備ください。



表紙写真応募者の声

vol.1



「自分力UP講座」活動風景
(毎週水曜日の放課後に活動)

活動内容について(兵庫県立和田山高等学校 黒崎教諭)

「自分力UP講座」は、身近な課題を設定して解決する能力を身につけることを目的としています。

本校の地域コーディネーターである中島英樹さんを講師とし、2年次生が少人数で行っています。一人ひとりの意見をみんなで共有し、協働的に楽しく活動しています。

2学期からは、本校の一大イベントである「わだやマーケット」の生徒運営委員として企画・運営を行います。地域の皆様もぜひお越しいただき、本校生徒の日々の学習成果をご覧ください。

自分力UP講座で苦勞したことは?(生徒の感想)

- ・1つの物事を深めていくこと。
- ・自分が考える朝来市についての問題を言葉で表すこと、また、考えたアイデアを幅広くすること。
- ・朝来市について知らないことが多く、提案を考えることが難しかった。
- ・相手に自分の考えを分かりやすく伝えるための方法を考えること。

高校生議会に向けた意気込みは?(生徒の感想)

- ・言葉が詰まっても頑張ってやり遂げようと思います。
- ・自分の意見をはっきりと伝えて朝来市の問題解決に繋がられるように頑張りたいです。
- ・精一杯頑張ります!
- ・議員さんに、よりよい朝来市になるような提案をしたい。

あなたの写真が表紙に!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集します。ご応募お待ちしております。



次号第87号
令和5年11月6日発行

9月5日
〆切

表紙応募方法の
詳細はこちら



9月定例会の予定

月	火	水	木	金
			8/31	9/1
			本会議	
4	5	6	7	8
本会議				一般質問
11	12	13	14	15
一般質問	一般質問	総務 常任委員会	文教民生 常任委員会	産業建設 常任委員会
18	19	20	21	22
	総務 常任委員会	文教民生 常任委員会	産業建設 常任委員会	
25	26	27	28	29
予算決算 特別委員会			本会議	

傍聴など、お問い合わせは
議会事務局 TEL 672-1930

議案審議

人事案件/意見書発議

委員会調査報告/委員会報告

賛否の状況

一般質問

政務活動費/広聴会募集

表紙写真応募者の声
/日程(9月定例会)